

法寿苑だより

No. 35 28年1月12日

謹
賀
新
年



「双龍」 高松市屋島東町 成田山聖代寺 山口恵照 作

年頭の挨拶

施設長 山口卓哉

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

今年の干支は十二支の中の申（さる）であります。「猿」ではなく「申」と書くのは、後から動物を当てはめたらしいですが、詳しいことは今回は省きます。

みなさん、猿と言えば何を思い出しますか？

小豆島の銚子溪のお猿もかわいいですね。

私は、以前観光で訪れた日光東照宮の三猿を思い出します。「見ざる、聞かざる、言わざる」のあの三猿です。国宝の陽明門もたいへん美しいですが、ガイドさんに説明してもらいながら見た、あの三猿がとても印象に残っています。

この猿には、三つの叡智の秘密が示されているとのこと。

この三匹の猿はまだ幼い子どもの猿で、本来の意味は、「子どもの時は、世の中の悪いことを見たり、聞いたり、言ったりしないで、素直なまま育ちなさい」という教育論的な意味があるようです。たいへん深い意味が込められているのですね。

これと同じ教えが、孟子の子供の頃のことを現した有名な『孟母三遷（もうぼさんせん）』の教えであります。幼児の教育には環境が最も大切であるという教えです。

孟子が幼い頃、彼の家は墓地のすぐ近くにありました。そのためいつも、葬式ごっこをして遊んでいました。孟子の母は、「ここはあの子が住むにはふさわしくないとところだわ。」そう考えて引っ越すことにしました。移り住んだのは市場の近く。孟子は商人のまねをして商売ごっこをして遊びました。孟子の母は言った。「ここもあの子が住むにはよくないわ。」再び引っ越して、今度は学校の近くに住みました。孟子は、学生がやっている祭礼の儀式や、礼儀作法の真似事をして遊ぶようになった。「ここならあの子にぴったりね。」孟子の母はここに腰を落着けることにしました。やがて孟子は成長すると、六経を学び、後に儒家を代表する人物となりました。

この教えのように『見ざる聞かざる言わざる』とは、子供の将来を考えた母猿が最高の教育の環境を考えて、教育上ふさわしくないものは、見たり聞かせたり真似させたりしないというのが、この三猿の教えの本当の意味になるのです。

我々の仕事は、高齢者への介護サービスなので今回の三猿の話は関係ないように思われる方もおられると思いますが、高齢者の方が安心して暮

らせる環境作りを常に考えなければならぬという点については全く同じであると思います。

「見ざる、聞かざる、言わざる」が子どもへの教育論であるならば、高齢者の方々に対してはその逆を考えることも大事であると思います。

我々職員は、常にご利用者のことを見つめ、話（要望）を聞き、必要なことはご本人・ご家族にしっかりと伝える・・・その継続こそが、ご利用者の安心した生活、高品質なサービスの提供につながっていくものと考えます。

猿は、木の上を飛び回る活発な印象を持つ動物です。今年一年、法寿苑にとっても明るく活動的な年にしたいと思います。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



謹 賀 新 年

2 0 1 6

これまでの出来事

避難・放水訓練

十月十三日、火災を想定した避難等総合訓練を実施しました。

夜間を想定し、消防への通報やホットラインでのやり取り、初期消火、そして避難誘導など一連の動作を行いました。火災はまず予防が大事ですが、いざと言う時の確な判断・迅速な行動をおこななければなりません。

今後も各種の訓練を通して、火災や災害への対応を学んでいきたいと考えております。



香川県シェイクアウト

(県民いっせいで地震防災行動訓練)

十一月五日、香川県が主催する県民いっせいで訓練「香川県シェイクアウト」に参加しました。

この訓練は「まず低く」「頭を守り」「動かない」三つの動作を行うことで、地震の際に自分の身を守る適切な行動を取れるようにするための訓練です。

苑内では、クッションやヘルメットで頭を守り、ご利用者の方々にも訓練に参加していただきました。



さぬき民俗芸能保存会様訪問



十一月二十二日、さぬき民俗芸能保存会の皆様の訪問があり、銭太鼓・大傘踊り等を披露してくださいました。

民謡や演歌に合わせて、大きな傘が舞うと、あちらこちらから歓声が聞こえておりました。

忘年会クリスマス

十二月も後半になり、苑内では忘年会やクリスマスイベントが行われました。

ご利用者の皆様楽しんでいただけよう、ユニット毎に工夫を凝らして企画をしました。

職員お手製の握りずしが振舞われたり、ピザやパスタなどの洋食でクリスマスを祝ったりと、それぞれのスタイルで年末のひと時を過ごしました。クリスマスにはサンタとトナカイも登場！

世間では忙しく走り回る年末ですが、苑内ではゆったりとした時間が



職員研修

法寿苑では、職員のスキルアップや意識・意欲の向上を目指して各種研修を実施しております。今回はそんな職員研修の様子をご紹介します。

ポジショニング講習会

十二月にはポジショニングについての研修を行いました。ポジショニングとは、簡単に言えば「クッション等を使って楽に安全に姿勢を維持できるようにする」ことです。特に重度者が多い施設では、このポジショニングが、拘縮や褥瘡の予防にはとても大切になります。またご利用者が楽に過ごせる快適さを求めることも重要です。

この研修では職員が入居者の代わりとなり、ポジショニングによる快適さを実感することができました。

この快適さをご利用者の皆様にも感じてもらえるよう、一人ひとりに合ったポジショニングを実践し、少しでも安全・安楽に過ごしていただける努力を続けたいと思います。



黒川保氏講演会

毎年の手打ちうどんイベントでお世話になっている有限会社 たも屋・代表取締役 黒川保氏により「仕事で人は磨かれる！〜考え方、とらえ方〜」と題して講演（職員研修会）を開催しました。

チームで仕事をする場合において、スムーズな人間関係を築くための相手をどのようにとらえるのか、そしてどのようにして受け入れるのかを教えてくださいました。

仕事のみならず、私的な人間関係においても大変意義深い講演だったと感じました。



迎春準備

十二月二十八日、年末恒例のお餅つきを行いました。法寿苑玄関ホールには石臼が置かれ、特養・デイサービスのご利用者がその周りでお餅つきを見物しました。

もちろん、その日のおやつはつきたての柔らかいあん餅。美味しいお餅を召し上がると、自然と笑顔がこぼれるようです。

同日には職員により門松も飾られ、無事に新年を迎える準備が整いました。



苦情受付状況

平成二十七年十月～十二月

介護方法に関する内容	0件
職員の対応に関する内容	2件
施設の対応に関する内容	1件
利用者との人間関係に関する内容	0件
入居中の医療に関する内容	0件

苦情・要望等のご意見がありましたら、各事業所の受付担当者（左記参照）までお電話でもお越しいただいても構いませんので、お気軽にご相談ください。

- ・特別養護老人ホーム・ショートステイ
池添 巧 Tel 8 3 2 - 5 5 0 0
- ・デイサービスセンター
松原 正晃 Tel 8 3 2 - 5 6 8 0
- ・老人介護支援センター
芳竹 大輔 Tel 8 3 2 - 5 4 0 0
- ・ホームヘルプサービス
龍満 修作 Tel 8 3 2 - 5 7 6 8

デイサービスセンター

デイサービスでは、十二月二十四日、二十五日の二日間でクリスマスパーティーを行いました。職員がサンタの格好をして踊りを行い、ハンドベルの演奏も行いました。ご利用者の皆様も楽しくご覧になっておられました。

その後、みなさん全員でビンゴ大会を行いました。ビンゴになった利用者の方には景品が送られ、景品が当たった利用者の方は、とても喜んでおられました。

デイサービスではご利用者の方、一人ひとりに満足していただけるよう、様々な企画を準備していますので、皆様、楽しみにしてください。



老人介護支援センター

・介護保険サービスのご相談。
・サービス計画（ケアプラン）の作成をいたします。

介護を必要とされる方が、住み慣れた自宅で安心して生活していただけるようお手伝いいたします。

ホームヘルプサービス

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、身体面（入浴・オムツ交換）や生活面（掃除・洗濯・調理）等、身の周りのお世話をいたします。

訪問介護員ヘルパー募 集

『明るく元気に』

一緒に働きましょう！

資格……ヘルパー2級以上

時給……身体介護 二〇〇〇円

生活援助 一六〇〇円

早朝・夜間・土日・祝日を中心に
働ける方を募集しています。

【連絡先】（〇八七）八三一・五七六八

【担当】龍満

「寄付・慰問」

あたたかい御厚情のお礼申し上げます「平成二十七年十月〜十二月」

順不同

《寄付物品》

総本山 善通寺様、栄光寺 池田宗弘様、川田シズ子様、佐々木千代恵様、浦田哲夫様、福島永枝様、藤本ヨシエ様、和田三紀様、柳田紀義様、八木政子様、松元チエキ様、川島ツマコ様、上枝ミツ子様、神原英昭様、上枝秀則様、仲田俊輔様、久保勝宏様、大川原清士様、山本登美子様、仲田幸子様、石井愛様、豊栄自動車有限会社様、窪田純子様、高橋秀子様、藤澤豊様、秋山ヨシ子様、滝川美子様、米田孝昭様、砂川フミコ様、株式会社アール・シー・エス様、ビーサポ様、中塚秀樹様、すずらん調剤薬局様、カーサ様、有限会社林総合保険事務所様、吉田カヨ子様、岩瀬節子様、西原コヒデ様、後藤設備株式会社様、久保弥生様、有限会社カノークス様、高松スズキ販売様、屋島観光バス株式会社様、黒田八重子様、濱田満様、西野孝三郎様、三角武様、武藤君代様、横山ヨシコ様、山本智恵様、西川千枝子様、小紅雅子様、有限会社完土 完土剛様、綿谷ヤス子様、佐藤照様、河野和男様、馬場公子様、松岡忠四郎様、石田八千代様

《慰問・ボランティア》

細井春美様、水無月会 佐々木康文様、有馬様、津田和美様、ボラえもん 藤巻信太郎様、木太小学校五年生の皆様、木太南小学校五年生の皆様、宮脇峰子様、さめき民俗芸能保存会 宮脇義隆様、ドリームベル 吉井美智代様

個人情報保護の為、名称の公表を差し控えたい方がおられましたら、お申し出下さい。

1月1日現在 特養の現状

	男性	女性	全体
入居者数(人)	11	39	50
平均介護度	3.91	3.82	3.84
平均年齢(歳)	84.9	89.5	88.5
最高齢(歳)	92	102	
最低齢(歳)	71	62	

《私達と一緒に働きませんか》

法寿苑では、介護職員・看護職員を募集しています。

長期入居者様、デイサービス・ショートステイ利用者様から多くのことを学べ、職員も充実した時間を過ごしています。

お気軽にお問い合わせ下さい。

087-832-5500



特別養護老人ホーム 法寿苑

〒760-0080 高松市木太町7区3308番地

(代表) TEL: 087-832-5500

FAX: 087-832-5530

法寿苑デイサービスセンター

TEL: 087-832-5680

法寿苑老人介護支援センター

TEL: 087-832-5400

弘善会ヘルパーステーション

TEL: 087-832-5768

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp>

(弘善会ホームページよりお入りください)

E-mail houshuen@kouzenkai.jp

